

2013年

「安心政令市にいがた」
の実現に向けて

～まちづくりの成果を実感できる年へ～

H25年度に向けて ～環境・文化で大きな前進～

■ **環境モデル都市に選定** (3月15日)

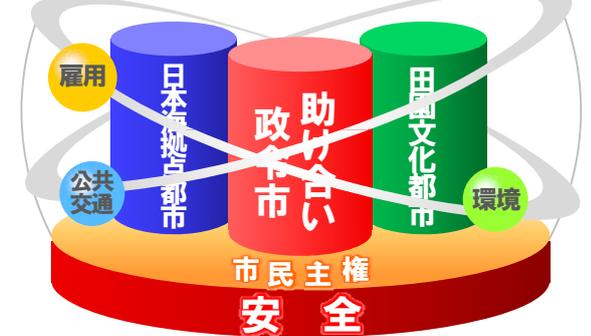
 低炭素社会の実現に向け先駆的な取り組みにチャレンジする都市

■ **文化庁長官表彰** (3月28日)
 食文化の発信や、水と土の文化創造マンガ・アニメを活用したまちづくりなどの取り組みが評価

 4月25日 りゅーどぴあ能楽堂

■ **新潟プレ・デスティネーションキャンペーン** (3～6月)
 全県テーマ「食」「花」など6つ + 新潟市「地域文化」

安心政令市にいがた



市民主権
安全





安心安全の土台を強化 ～防災機能強化～

浸水対策の強化

- **もぐり橋対策** (臼井橋の整備推進)
- **雨水ポンプ場の整備** (白根水道町、前川原)
- 「**田んぼダム**」の活用 (大石・本所排水区 ほか)



施工中の臼井橋



ポンプ場見学の様子



田んぼダム(イメージ)

安心安全の土台を強化 ～津波対策～

■ **津波避難ビル**の指定拡大・表示設置

民間**9**施設(協定) 公共**82**施設
約**176,700**人が避難可能

地域独自の津波避難ビル**122**施設

追加施設例 (3月11日)

場 所:新潟日報社
「メディアシップ」
収容人数:約**600**人※
※1m/1人 収容可能として算出




津波避難ビル表示

協定締結式

安心安全の土台を強化 ～地域防災力～

災害時要援護者名簿を配布

■ **地域の皆さんの迅速・的確な避難支援のため**

推奨訓練増額助成(新設)

■ **自主防災訓練で市が推奨する訓練を実施した組織や積極的な取り組みをした組織への助成を増額**

大災害を想定した避難所運営訓練

学校と連携し児童・生徒が参加した訓練

災害時要援護者訓練





**助け合い政令市
にいがた**



助け合い政令市にいがた ～福祉都市～

介護サービスの基盤整備

特別養護老人ホーム
白山やすらぎ(中央区)

**特別養護老人ホーム
などの介護施設の整備を推進**



	H24年度末	H25年度末 (計画分)	H26年度末 (計画分)
施設数 (広域・地域密着型)	66施設	71施設	73施設
定員 (増床分含む)	4,340人	4,738人	4,867人

助け合い政令市にいがた ～障がい者支援～

地域で暮らす障がい者を支援

■(仮称)障がい者就業支援
センターの設置 10月(予定)

障がい者の就職相談から就職後の
定着支援まで一貫した支援



総合福祉会館内
に開設(中央区)

ひのみ園

幼児ことばとこころの
相談センター

統合

こども発達支援センター
(仮称・H27年春 整備予定)

中核的な療育支援機関

助け合い政令市にいがた ～地域医療対策～

地域での安心体制づくり

医療 連携・一体化 介護

住まい

2040年、
約49万人分の
看取りの場所が
不足する見込み
(厚労省設置の審議
会資料より)

■「新潟市医療計画」の策定

- 在宅医療連携体制を充実・強化

■地域包括ケアシステムの推進

- 小規模多機能型居宅介護拠点 5カ所整備
- モデル事業を通じた連携強化の実践、課題把握

助け合い政令市にいがた ～健幸都市～

スマートウェルネスシティの推進

健康づくり

- 健幸になれるまちづくり推進事業
- いきいき健康づくりへの支援
- 商店街との健康づくり事業

まちづくり

- 公共交通の強化
- 歩行空間の整備
- 自転車利用環境の整備

健幸都市「SWC」

**公共交通及び自転車で移動しやすく
快適に歩けるまちづくり条例**

助け合い政令市にいがた ～健康づくり～

新潟シティライド開催

2種目 ロングライド(120km)
ショートコース(33km)

自転車を活用した健康維持・増進

(仮称)新潟市アイスアリーナ整備

H26年2月オープン(予定)

フィギュアスケート、アイスホッケー、カーリング など対応
太陽光パネルのエコリンク



助け合い政令市にいがた ～子育て支援～

こども医療費の助成拡大

	0歳～小学3年	小学4年～中学3年	高校1～3年
入院	すべての子ども		子3人以上世帯
通院	すべての子ども	子3人以上世帯	

今年9月から、子ども3人以上の世帯は高校卒業まで助成

ひまわりクラブの運営

H27年度から小学4年生以上の受け入れ実施(予定)

H25年モデル実施
木戸ひまわりクラブ
万代長嶽ひまわりクラブ
横越ひまわりクラブ

助け合い政令市にいがた ～地域と学校～

地域と学校パートナーシップ事業

■小・中学校など**全173校**に
**地域教育コーディネーターを
配置**（計画より1年前倒し）



地域ボランティアが大活躍
～宿題片付け隊（味方小学校）

H24年度 H25年度
158校 → 173校(配置率100%)

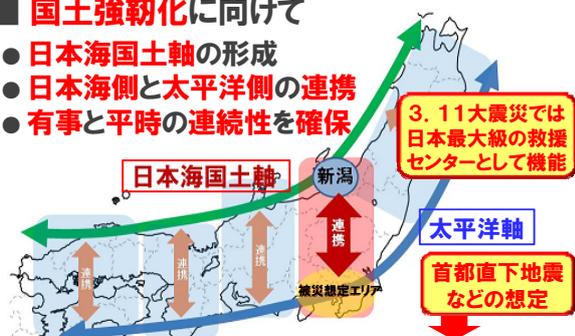
地域防災のため自治会長宅を
中学生が訪問（舟栄中学校）



日本海拠点都市にいがた ～防災首都～

■ **国土強靱化に向けて**

- 日本海国土軸の形成
- 日本海側と太平洋側の連携
- 有事と平時の連続性を確保



3.11大震災では
日本最大級の救援
センターとして機能

日本海国土軸

新潟

連携

被災想定エリア

太平洋軸

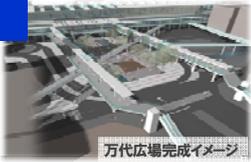
首都直下地震
などの想定

「救援拠点」から「平時の拠点」へ

日本海拠点都市にいがた ～基盤整備～

新潟駅周辺地区の整備

■ **連続立体交差事業**
南北市街地の一体的な整備



万代広場完成イメージ

新潟空港の機能向上・利用促進

■ **国内外のネットワーク拡充**
 ■ **運用時間の1時間延長を推進**



年間利用者数 985,906人 ※前年比約**15%増**
 (2012年度 速報値)

日本海拠点都市にいがた ～雇用の場づくり～

航空機産業の集積

成長分野の**新たな産業**

共同工場の市内立地の取組

国内初の**航空機エンジン部品共同工場**建設を支援



海外航空ショー出展の様子
 (UAVショーヨーロッパ・フランス2012)

起業支援型雇用創造事業

新潟市 → 公募事業の委託 (地域に根差した事業) → ※起業後10年以内 企業等 → ハローワークを通じ求人 → 失業者 → 雇用

田園文化都市にいがた



田園文化都市にいがた ～農・工・商の連携～

ニューフードバレーの形成

農業活性化研究センター **H25年6月オープン**

アグリパーク **H26年 春オープン (予定)**

新潟を6次産業化の基地に

- 一体的な支援の推進
 - 生産拡大
 - 加工支援
 - 販路拡大
 - 商品開発
 - 新商品販路
- 売れる農産物拡大への誘導
- 関係機関の連携とプロモーション推進

田園文化都市にいがた ～農業者支援～

がんばる農家支援事業

予算規模を拡充 3億 → 3億5千万円
(H24年当初) (H25年)

意欲ある農業者への支援をより一層拡充する

- 経営複合化
- 農産物の付加価値向上
- 省エネルギー対策



田園文化都市にいがた ～日本一の食と花～

食と花の交流センターエリア「いくとびあ食花」

食育・花育センター
 こども創造センター
 動物ふれあいセンター

3施設が連携、食育・花育などを体験するプログラムを実施

アグリパーク

宿泊型の農業体験施設
 農業体験の拠点に



「いくとびあ食花」完成イメージ

全ての小学生に農業体験を地域の農業を元気に **教育ファームの実現**

田園文化都市にいがた ~エネルギー環境~

スマートエネルギーシティの構築

- **防犯灯LED化推進**
- 設置補助予算
3,695灯 → **10,000灯** **拡大**
- 電気料補助率
LED灯 1/2 → 10/10 **拡充 (上限あり)**

さらなる減量化・リサイクルを推進

- **ごみ分別百科事典の全戸配布**
- **3R意識の啓発事業を強化**

資源とごみの情報紙
サイチョプレス
の発行も
増やすよ!

サイチョくん



田園文化都市にいがた

水と土の力を伸ばす交流都市

**マリンピア日本海 7月
リニューアルオープン**

- **ホスピタリティの充実
新たな魅力の付加**

マリンピア日本海(イメージ)

マンガ・アニメのまち

マンガ・アニメ情報館オープン

- **新潟のマンガ・アニメ文化
を国内外へ発信**
- **体感コーナーの充実**

5月2日
オープン

万代シティ・BP2



**市民主権都市
にいがた**



市民主権都市 ～新潟州構想～

これまでの検討の成果

- ハローワーク
- 感染症対策
- 食の安全・安心

課題から実践へ

一体的窓口
(東区役所内に開設)

司令塔を一本化
(県・市で覚書調印)

<p>県と共同で推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 新潟州構想検討推進会議 ■ 県と政令市との課題解決 ■ 県と市町村の協議の場 ■ 県全域に関わる施策の推進 	<p>新潟市独自で推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 県・他市町村との取り組みに加え... ■ 地域(区)における自治の深化に向けた検討 <p>本市にふさわしい 新たな区政の創造</p>
--	--

市民主権都市 ～区政の創造推進～

地域(区)における自治の深化に向けて

行政区による主体的なまちづくり

- 区役所に権限と財源をさらに移譲

市民が主役となる自治の実現

- 区自治協議会・地域コミュニティ協議会のさらなる活性化

教育に責任をもてる体制の構築

- それぞれの地域で最適な学・社・民の融合
- 学校区における地域と学校の連携

区政の創造推進

市民主権都市 ～制度の選択肢～

本市が考える優先順位

区の役割強化に伴う「区長の選任方法」

1. 公募 希望者を募集し選考により市長が任命
2. 議会同意を得て選任する特別職
3. 公選

・ 選択肢として確保
・ 法改正が必要なため
制度改正提案

教育に責任を持てる「教育委員会のあり方」

1. 担当区制 教育委員を増員し担当区を定める
2. 区に教育委員会
3. 必置の見直し

・ 選択肢として確保
・ 法改正が必要なため
制度改正提案

市民主権都市 ～地域力・市民力～

地域づくりの拠点創出

- まちづくりセンター 全市展開へ
- 20カ所 → 28カ所

区自治協議会提案の事業化

- 地域自らが地域力を活かしたまちづくりを進める
- コミュニティの活性化
- 300万円 → 500万円




**持続可能な公共交通体系に向けた
“新バスシステム”の運用開始へ**
～BRTによる都市内交通の再構築～



新潟市

公共交通利用環境は年々悪化

バス利用者数の推移

年度	利用者数 (百万人/年)
H2	69
H7	41
H12	30
H17	24
H22	24

20年間で65%減
10年間で40%減

運行便数の推移

年度	運行便数 (便/日)
H23	4034
H24	3208

約20%減

これまでの取り組み【オムニバスタウン事業】

バス待ち環境の向上
 昼間バス「ゆーとリンク」運行
オムニバスタウンにいがた
 ～人と環境にやさしいバスを使ったまちづくり～
 バスデマンドバスの導入促進
 ICカードの導入

オムニバスタウン事業期間の利用者数推移

“りゅーとリンク”路線では利用者の減少に歯止めがかかるなどの効果が出ているが、バス利用者が総じて減少の傾向が続いている。

年度	全市のバス利用者 (万人/年)	りゅーとリンク利用者数 (各年11月) (万人/月)
H17	3,130	16.7
H18	3,080	16.4
H19	2,834	15.9
H20	2,730	17.1
H21	2,627	17.0
H22	2,441	-
H23	2,379	-

これまでの事業スキームでは限界！！

新たな事業スキーム

公設民営方式

連節バス等の貸与によって・・・

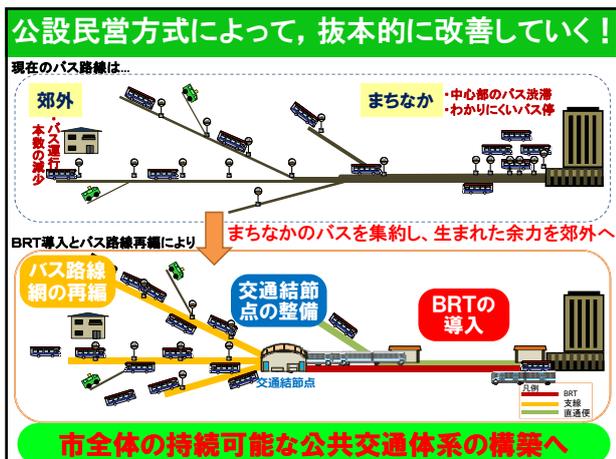
- ◎交通事業者の初期投資費の軽減
- ◎交通事業者との協働体制の確立
- ◎バス交通への市の関与の強化

⇒ **サービスレベルを継続して提供できる**

⇒ **全市的な抜本的改善に着手できる**

```

    graph LR
      A[新潟市等の公共] -- "車両や施設の貸与" --> B[運行事業者]
      B -- "サービス提供" --> C[利用者]
    
```



バス路線再編によるメリット、デメリット

■**メリット**

- 郊外線の増便
(終バス時刻が遅くなる)
- 多方面に行きやすくなる
- 将来的にサービスを持続可能なものとなる

■**デメリット**

- 乗換の手間が増える

これらにより対応

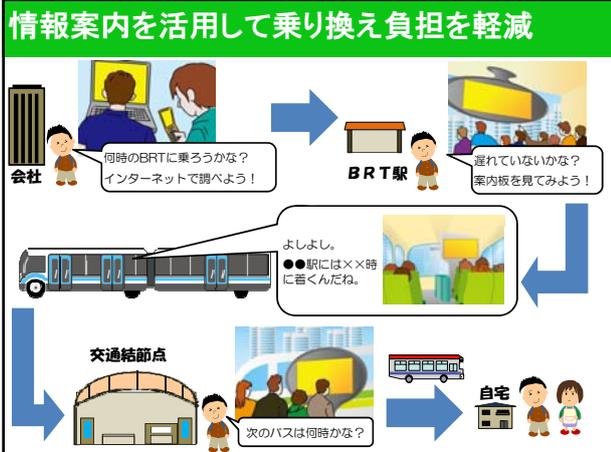
- ・バス位置や出発時間がわかる
- ・雨や風を気にせず、ゆったり待てる
- ・乗り換えるバスまで距離が短い など

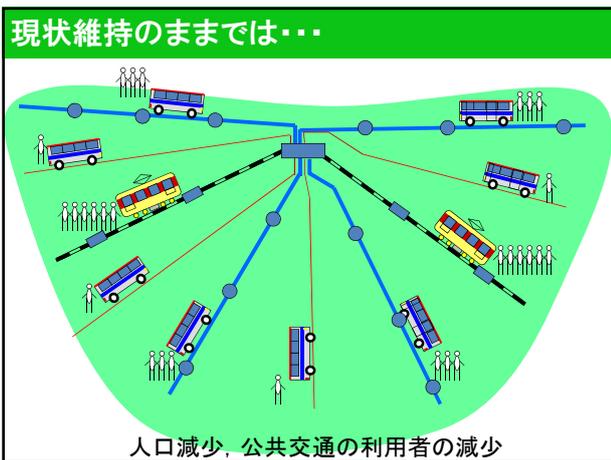
乗換が必要になる場合の移動イメージ

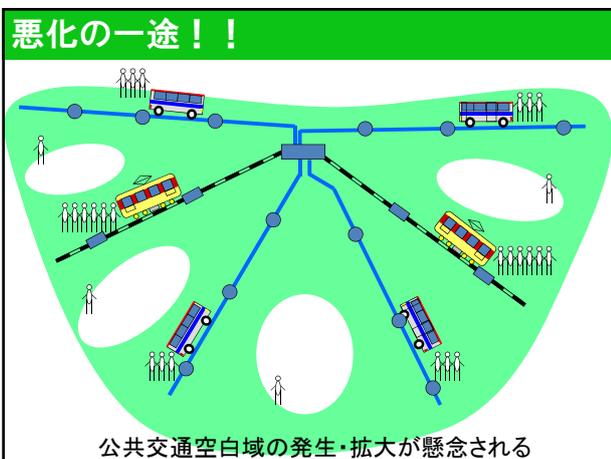
- バス位置や出発時間がわかる(運行頻度もアップ)
- 行き先の選択肢が増える

スムーズな乗り換え
上屋、情報案内、待合環境の充実

- 雨や風を気にせず、ゆったり待てる
- 乗り換えるバスまで距離が短い







既存のバスによる再編では・・・
新潟駅万代口でのピーク時間帯30分への対応不可

※想定利用者数797人に3分間隔の運行で対応
〔新潟市試算〕

想定利用者数 > ピーク時30分における
797人 最大輸送力
630人

**利用者数が輸送力を上回り、
乗りこぼしが発生**

ピーク時に対応するために
連節バス8台、一般バス2台の場合

※想定利用者数797人に3分間隔の運行で対応

想定利用者数 < ピーク時30分における
797人 最大輸送力
1,046人

**車内に多少の余裕あり
(乗車率約76%)**

ピーク時に対応するために
連節バス4台、一般バス6台の場合

※想定利用者数797人に3分間隔の運行で対応

想定利用者数 < ピーク時30分における
797人 最大輸送力
838人

**対応可能だが、車内に余裕は
ない(乗車率約95%)**

新潟交通が提案したバス路線再編案

- **バスの網**を作る（幹線・支線・フィーダー線）
- 都心部内のバスの便数をBRTで集約して、**人員・車両を郊外路線に充当する**
- **長大路線を短区間**に分け、幹線、支線、フィーダー線の**運行頻度を高める**
- **定時性**確保、**速達性**を向上する
- ICカード「リゅーと」利用者：現行直通で乗車できている区間では、**乗り継ぎによる追加料金の発生なし**
※現金利用者：わかりやすく、利用しやすい料金体系となるよう、対応策を今後検討する
- 市と**協働**して公共交通利用促進のための取り組みを推進する

まちなかではよりよいサービスの提供

- 1) バスが時間どおりにくる
- 2) 目的地により早く着く
- 3) 快適にゆったり乗れる
- 4) スムースに乗降りできる
(ベビーカー利用者、お年寄り等)
- 5) バスがいつ、どこに来るかわかる
- 6) 多方面に行きやすくなる
- 7) 快適にバス待つことができる 等



郊外では、運行本数の増強

●連節バスを8台導入した場合 【新潟交通機試算】

路線	運行本数【平日】(本)		乗換場所	備考
	現在	BRT導入時		
リゅーとリンク (中央循環)	176	183 4%up↑	市役所	※市民病院線(駅前口発)は35%減便(69本→45本)
西小針	256	256 -	乗換なし	
有明	157	157 -	乗換なし	
寺尾・大堀	200	290 45%up↑	青山	
8号	118	152 29%up↑	青山	※新潟交通観光線分含む
松浜	220	237 8%up↑	万代	※ルート変更(万代町通→113号)
旧7号	84	96 14%up↑	新潟駅	
⇒ 合計 539 本		新設 3 路線		

公共交通環境の整備 ～ 3つの柱 ～

① 地域内の生活交通確保
 区バス
 住民バス
 生活交通の再構築

② 都心アクセスの強化
 鉄道・骨格幹線バス
 パーク&ライド
 地域と都心の連携

③ 都心部での移動円滑化
 BRT(次世代型バスシステム)
 BRTの導入

移動しやすいまちづくりから まちのにぎわい創出へ

今後、段階的に推進し、より便利な公共交通へ！

サービスレベル ↑

各区での段階的な取り組みにより
更なる利便性の向上へ！

- ★BRT開業
 - ・新潟駅～青山
 - ・連節バス4台
 - ・交通結節点の整備 等
- ★BRT機能強化
 - ・専用走行路
 - ・連節バス8台 等
- ★バス路線再編の開始
 - ・網で覆うバス路線
 - ・各地域の結節点の整備 等
- ★新潟駅高架下交通広場の完成
- ★新潟駅南側方面、東部方面への新バスシステムの展開

第1期暫定型 第1期完成型 第2期 時間 →

新潟市北区の おいしい情報サイト キラキタク キラミテ	にいがた東区 ゲンキ魂 -みんなの力がゲンキの素!!-	四季彩食菜 しきさいしょくさい 新潟市の「食の情報発信サイト」OPEN!!
Oishiku Nishiku	区の 予算	新潟市南区スペシャルサイト みなみて
えんでこ 中央区 区民の 声	あきはぎ 里山冒険王 山田屋 山田屋 山田屋	禾 西蒲区の魅力 再発見。 なこみ発見伝
